

平成29年度特許情報等分析活用支援事業
特許情報分析報告書 (③審査請求段階)

出願番号	-	※もしくは貴社整理番号、弊社受付番号など				
公開番号	-					
発明の名称	微粉末水溶性樹脂					
調査年月日	2017年3月12日					
対象資料	公開特許公報、(公開実用新案公報、登録実用新案公報)					
調査対象期間	特許：平成1年1月1日～平成27年3月2日 / 実用新案：					
調査観点	1. セルロース系材料を用いた微粉末状物の製法で、乾燥工程を低温⇒高温の2段階 2. 上記1の微粉末状物が、マイクロカプセルであるもの ※もしくは出願明細書中の対象請求項 例：請求項1～4					
検索式	[A]JP-NET FI・Fターム検索による抽出公報の閲覧：①+②+③ (P=120、U=12) ①Fターム：4G075([AA02+AA22+AA32+AA33+AA34+AA35]*[BB02+EA05+EA06+EA07]*BD26) ②Fターム：4G005(AA38+\$DA21+DA43+DC08)*AA13 ③Fターム：4F201([AK01+AK04+AK07+AK08]*[BN01+BN21]*[AP14+AR15]) ※各検索ツールにおける検索式と、閲覧件数を記載 [B]HYPAT-i検索による抽出公報の閲覧：④*⑤+⑥*⑥ (P=52、U=20) ④FI：(B01D1/22?) ⑤クルムKW：セルロース+水溶性樹脂+水溶性高分子+水溶性ポリマ ※調査範囲は、技術の内容、検索ツール、使用の分類やキーワードにより適宜選択 ⑥クルムKW：マイクロカプセル+微小カプセル+内包 ※主な使用データベース (国内) ・JP-NET ・HYPAT-i ※新規性を観点とし、閲覧状況により不足部分を適宜追加					
調査結果	No.	公開番号	発明の名称	概要	関連する観点	評価
	1	特開2005-xxxxxx	水溶性樹脂粉体	CMCを含有した粉体に関し、スプレー噴射により形成した粉体を予備加熱後、乾燥する技術が開示。 【0000】「…水溶液はCMCと△△△を含有し…さらに、スプレー噴射を使用して微粒子を形成してもよい。微粉体中のCMCの含有量は??重量%以下である…」 【00**】「…形成された微粒子は、予め予備加熱された第一乾燥槽で、一分加熱し、その後**Cに加熱された第二乾燥槽に吹き込まれる。…」	1	○
	2	特開2003-xxxxxx	マイクロカプセル	内部に油性組成物を含有したマイクロカプセルに関し、カプセルの材料として、HPMCなどの水溶性樹脂が開示。 【00**】「* * *とカプセル材を混合したエマルジョンを乾燥させ、マイクロカプセルを形成する。」 【00**】【00**】をご参照下さい。 但し、カプセルの加熱を2段階とする記載はありません。	2	△
	3	特開平11-xxxxxx	※調査観点に該当する記載を抜粋。 相違点があれば、その箇所と観点を記入する	2	▲
	4	特開2001-*****	1	▲
※報告書には、抽出公報を添付、 公報中、該当箇所にアンダーライン						
評価記号の説明： ○…開示有り △…類似技術の開示有り ▲…参考程度						